

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	ふたみシーサイド公園管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 5 目	事業番号	3320	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	伊予岡一幸	
法令根拠等	伊予市ふたみシーサイド公園条例				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 賑わいのある観光の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	地域資源を活かした観光づくり						
事業の対象	市民等			事業の目的	伊予市内の観光振興の重要拠点として、市内観光情報の提供や特産品等の展示販売を行い、年間を通じてイベントの開催や情報発信を行う。		
事業の内容 (整備内容)	指定管理制度に基づき、管理運営及び施設の整備を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	令和3年度から指定管理者が変更することから、更なる集客等に期待する。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	46,259	469,924	0	0	6,000	445,425	観光入り込み客数	千人	514	100	100	100
国庫支出金	0	0	0	0	0							
県支出金	0	0	0	0	0							
地方債	30,800	420,000	0	0	0							
その他	0	0	0	0	0							
一般財源	15,459	49,924	0	0	6,000	25,425						
職員の人工(にんく)数	0.00	2.50				2.50						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812			0			
※ 直接事業費+人件費	46,259	489,454				464,955						
主な実施主体	有限会社 シーサイドふたみ		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		手数料、指定管理料、委託料、改修工事費				0			
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
					15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000		
成果指標	指標	観光入り込み客数	単位	⇒	区分年度	前年度	2年度	3年度	目標	毎年度		
	指標設定の考え方	施設改修のため、施設利用者の減数が考えられる。			目標	600	150	700				
	指標で表せない効果				実績	514	100					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		令和2年7月から施設改修工事に入っており、令和3年4月からの指定管理者が変更したことから、次期指定管理社には自主企画イベント等の実施により集客向上に努めてもらいたい。								
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により5月のGWは閉園を余儀なくされるなど、集客面において厳しい状況であった。7月から改修工事を開始し、スムーズに工事が進んだことから予定通り完成するに至り、3月には次期指定管理者に引き継ぐことができた。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に於いておらず、見直しが必要である。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	4					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4						
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A		事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 道の駅、恋人の聖地にも認定されている伊予市を代表する観光拠点施設であることから、更なる観光・交流の促進を図るためにも、事業の継続が必要であると判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に於いておらず、見直しが必要である。	4					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3							
所属長の課題認識	効率性	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3	合計点が	B	所属長の課題認識 新しい指定管理者との連携のもと、適切かつ的確な管理運営に当たる必要がある。			
		手段の最適性	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3						
		コスト効率	5 4 3 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 新生ふたみシーサイド公園をフル活用するためにも、新たな指定管理者とリアルタイム情報の共有・蓄積・分析を常に行い、提供する公共サービスの質を維持向上させる機能を見出すため、指定管理者制度の理解とノウハウを高めるような人材育成に努めること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		